

➤ 17日 火曜

ピリピ



3:12 私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にされているのでもありません。ただ捕らえようとして追求しているのです。そして、それを得るようと、キリスト・イエスが私を捕らえてくださったのです。

3:13 兄弟たち。私は、自分がすでに捕らえたなどと考えることはありません。ただ一つのこと、すなわち、うしろのものを忘れ、前のものに向かって身を伸ばし、

3:14 キリスト・イエスにあって神が上に召してくださるといふ、その賞をいただくために、目標を目指して走っているのです。

3:15 ですから、大人である人はみな、このように考えましょう。もしも、あなたがたが何か違う考え方をしているなら、そのことも神があなたがたに明らかにしてくださいませ。

3:16 ただし、私たちは到達したところを基準にして進むべきです。

3:17 兄弟たち。私に效う者となってください。また、あなたがたと同じように私たちを手本として歩んでいる人たちに、目を留めてください。

3:18 というのは、私はたびたびあなたがたに言ってきたし、今も涙ながらに言うのですが、多くの人がキリストの十字架の敵として歩んでいるからです。

3:19 その人たちの最後は滅びです。彼らは欲望を神とし、恥ずべきものを栄光として、地上のことだけを考える者たちです。

3:20 しかし、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、私たちは待ち望んでいます。

3:21 キリストは、万物をご自分に従わせるこ

とさえできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自分の栄光に輝くからだと同じ姿に変えてくださいます。

成人とは完成された人のことを考えるのが、世の一般的な感覚かもしれませんが、それは神なしで人間だけで生きようとする価値観です。

神様がおられて、その神さまに愛されている以上、私たちは神とともに歩むのです。そしてどんなに立派は人でも聖にして全能な神の御前では、不完全な罪人にしか過ぎないのです。であれば、「完全にされているのでもありません」と、パウロのように、もっと成長し前進するのだという、謙遜と意欲を持った人が、主の前で成人なのです。このことを忘れないようにしましょう。

かといって「すでに達している」救いまでも、変わっていかねばならないと考える必要はありません。これを「基準として、進むべき」です。私たちも変わらない救いの信仰にしっかり立ち、自分自身は変わってゆく、すなわち成長・前進してゆく者でありましょう。

パウロのように、自分のアイデンティティーを永遠の神の国にしっかり結びつけて、希望を持って人生を切り拓いていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

